

教育学部 学校教育学科 カリキュラムツリー 2019年度入学生用

学校教育学科 ディプロマポリシー	1. 地域・協働	<ul style="list-style-type: none"> ●【地元力】長野県の初等教育を顕著に担って行くとする意欲を持った人材/学校教育の周辺分野において、学校現場をサポートできる力量を持ち、地域社会の発展と地域文化の振興に資する力量を持った人材も包括している。 ●【地域連携力】地域の力を学校教育に導入・活用できる人材/児童の多様な能力を引き出すには、保護者を含む地域の教育力を学校に取り込み、地域と一体となって子どもを育て、柔軟かつ原則的な対応ができる能力を育う。
	2. 知識・指導	<ul style="list-style-type: none"> ●【子ども理解力】子どもの発達段階に応じた育ちのあり様を理解しようとする人材/現場体験の中で子ども達の行動様式を観察・確認するだけでなく、心理学的な学びを深めることで、子ども個々の内面からの洞察も加えられるようにする。 ●【授業力】子どもの学びを引き出す分りやすい授業を展開できる人材/初等教育の基本となる、分りやすい授業を展開できる能力と児童の発達に合わせた思考過程をクラス全体の深い理解に活かせる柔軟な指導力を獲得する。 ●【自己開拓力】自分の守備範囲を広げることによって意欲的な人材/小学校の教員免許取得にとどまらず、特別支援学校や中学校の一種免許など時代の要請に応えて、自分が携わることのできる教育の範囲を越えようとする意欲的な姿勢を養成する。 ●【学級運営力】子どもの個性を尊重しながら学級を運営できる人材/学級の構成員である子ども達の和を保ちつつ、それぞれの能力を引き出し、学校で学ぶことが楽しいと思えるクラス運営を実施できる力を獲得する。 ●【生徒指導力】同僚の協力を得ながら生徒指導の諸課題に対応できる人材/最近の複雑な様相を呈する生徒指導・進路指導の諸課題に、人間の幅の広さを備え、他の教師と協力しながら対応できる力を育う。 ●【学校運営力】同僚と協力して学校運営ができる人材/他の教師と協力して学校運営に携わることができるのは、学校に生起する諸課題を前向きに改善するために必要な資質であり、その力を獲得する。
	3. チーム・運営	

各学年・期の到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
各学年・期の到達目標	基礎的なコミュニケーション能力(英語を含む)およびライティング能力、プレゼンテーション能力を身に付けている。専門領域においては、教職の意義と教育の理念・思想に関する理論、小学校において必要な各教科の基本的性格と科目目標・内容構成を把握している。	アカデミックスキルをより深化させ、基礎的な授業をより深く行っている。ICTの操作に関する基礎理論・知識の習得、小学校において必要な各教科の基本的性格と科目目標・内容構成を把握し、各学年の授業構想や指導計画を作成する基礎能力を身に付けている。	興味のある授業モジュールのテーマについて、基礎的な知識を習得している。専門領域においては、教科の学習指導法に関する基礎理論・知識を修得し、教科書の内容を教材として解釈し、教科書及び資料集などの教材を分析することができる。	授業モジュールのテーマに沿った内容を理解し、自らの意見を述べ、論述・発表することができる。専門領域においては、教科の指導法に関する基礎理論・知識を修得し、教育実習に向けての実践力を身に付けている。	各教科の概論および指導法の知識を習得し、教科書にある題材や単元等に合った教材・資料を開発・作成することができる。学級での様々な児童生徒に合わせた応用的な対応ができる。特別支援学校教諭免許課程においては、特別支援教育の基礎的な理論・知識を身に付けている。	教育実習での経験を活かし、発展的に教材・資料を開発・作成することのできる能力を身に付けている。また、児童一人ひとりに対する基本的な対応ができる。特別支援学校教諭免許課程においては、理論・知識を活かし、実習に対応できる応用力を身に付けている。	教育実習での経験を基に、教科や学校教育全般の諸課題に関して自己の課題を設定することができる。特別支援学校教諭免許課程においては、理論・知識を活かし、実習に対応できる応用力を身に付けている。	ディプロマポリシーに掲げた3つの力を備え、自ら選択した教科や学校教育全般の諸課題に関して、卒業研究として自らの意見を論述・発表することができる。
教職に関する科目群	教職論(初中等) 教育方法論(初中等)	教育基礎論(初中等)	教育心理学(初中等)	教育課程論(初中等)	発達心理学(初中等)	教育制度論(初中等) 教育史(初中等) 学校経営(初中等)		
教科に関する科目群	国語科概論 算数科概論 音楽(歌唱) 体育 I	音楽(器楽) 体育 II	初等国語科指導法 初等算数科指導法 初等生活科指導法 初等体育科指導法 道徳教育指導論(初中等)	初等社会科指導法 初等理科指導法 初等音楽科指導法 初等英語科指導法 特別活動指導論(初中等) 生徒指導・進路指導(初中等)	初等家庭科指導法 初等園児工作科指導法 総合的な学習の時間の指導法(初中等)	教育相談(初中等)		
教材研究科目群			社会科教材研究 算数科教材研究 理科教材研究 体育科教材研究	国語科教材研究	国語科教材演習	算数科教材演習		
教育深化と心理科目群		特別支援教育入門	授業法の基礎		教育制度研究 子どもの学びをつくる	教育史研究 教職教養特別演習 義務教育の未来を考える 認知心理学 臨床心理学(発達障害入門) カウンセリング入門		
教育実践科目群			介護等体験入門 地域活動実習	学校インターンシップ 教育実践特講	地域学校教育活動			
教育実習科目群					初等教育実習事前・事後指導 初等教育実習	中等教育実習事前・事後指導 中等教育実習 I・中等教育実習 II	教職実践演習(初中等)	
特別支援教育に関する科目群			特別支援教育総論 障害児臨床支援演習 I		障害児臨床支援演習 II 知的障害児の心理・生理・病理 知的障害児の教育課程と指導法 聴覚障害児教育総論 発達障害児・者等の支援と教育	肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理 病弱児の教育課程と指導法 視覚障害児教育総論	特別支援学校教育実習	
英語教育に関する科目群	Reading I	異文化理解概論	異文化交渉海外研修 Public Speaking	Writing Skills I	Writing Skills II Discussion&Presentation Communicative English I	英語発声演習 英文法演習 英語圏文化演習 I 英語圏文化演習 II Communicative English II		
専門研究科目群			国際交流演習 TOEFL演習 I	TOEFL演習 II	TOEIC総合演習 I TOEIC総合演習 II	TOEIC総合演習 III TOEIC総合演習 IV		
導入科目	地域社会と大学教育 基礎ゼミナール I	基礎ゼミナール II 知の技法						
外国語科目群	総合英語 I 英会話 I TOEIC I	総合英語 II 英会話 II TOEIC II	総合英語 III 英会話 III TOEIC III	総合英語 IV 英会話 IV TOEIC IV				
情報リテラシー科目群	ICTと情報倫理 情報処理 I (WORD)	情報処理 II (EXCEL初級)	情報処理 III (EXCEL上級)	情報処理 IV (パワーポイント)	情報処理 V (ホームページ)			
人間といのちを考える科目群	子どもの育ちと教育 心理学概論 生涯スポーツ I (集団的スポーツ)	生涯スポーツ II (個人的スポーツ) こころと体の健康	哲学	生命倫理 スポーツとノーマライゼーション	対人関係の心理学			
現代の日本社会を理解する科目群		日本国憲法 経済入門	新聞に見る社会の動き	国際経済 日本地理	近代日本の歴史			
地域を考える科目群	地域の歴史	地域課題研究 地域と文学	地域の伝統行事		地域社会と学校教育 地域経済史			
異文化理解と国際交流科目群	日本文化 異文化理解	比較文化		海外研修 I 海外事情 I	海外研修 II 海外事情 II			
環境・自然を科学する科目群	数学の基礎 生物学の基礎	化学の基礎	基礎統計学	地球環境と人間生活	地域環境と生態	ごみ処理と循環型社会 環境社会学		
キャリア形成	キャリア入門	学校ボランティア活動			キャリアデザイン I	キャリアデザイン II	ワークインフォメーション	

注1:赤字は卒業必修科目 注2:矢印は科目の順次性を表わしています 注3:科目の色はディプロマポリシーとの関連性を表わしています